

男の中の男・開国の先駆者 榎本武揚の点描

[著] 根津 静江 [編] 鈴木 克也

幕末・維新の激動期、開国か攘夷か、討幕か佐幕かをめぐって国は大きく分かれていた。榎本武揚は幕臣としての忠義を貫き、箱館戦争を戦い、新政府軍に敗れたが、黒田清隆に助けられ、後には開拓使、さらには明治の高官として、ロシアとの交渉にあたる等の活躍をした。彼の視野には小さな派閥を超え、能力を国や社会のためにささげたいとの大きな気持ちがあった。スケールの大きな「男の中の男」であった。箱館を舞台に繰り広げられた幕末明治のロマンを地域の女性の目で書き下ろしたものである。



◆目次

はじめに

- 1 幕臣・榎本武揚 義に生きた 半生
- 2 榎本武揚 第二の人生
- 3 はこだて・榎本・点描

特別寄稿 縄文遺跡群 世界遺産へ前進！

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 Tel 052-915-5211 Fax 052-915-5019
	冊	[著] 根津 静江 [編] 鈴木 克也 男の中の男・開国の先駆者 榎本武揚の点描 116頁 / A5版 / ソフトカバー 定価 1,500円 (税別) ISBN 978-4-86693-341-2 C1023
ご注文は、JRCへ FAX:03 - 3294 - 2177 (TEL:03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		